

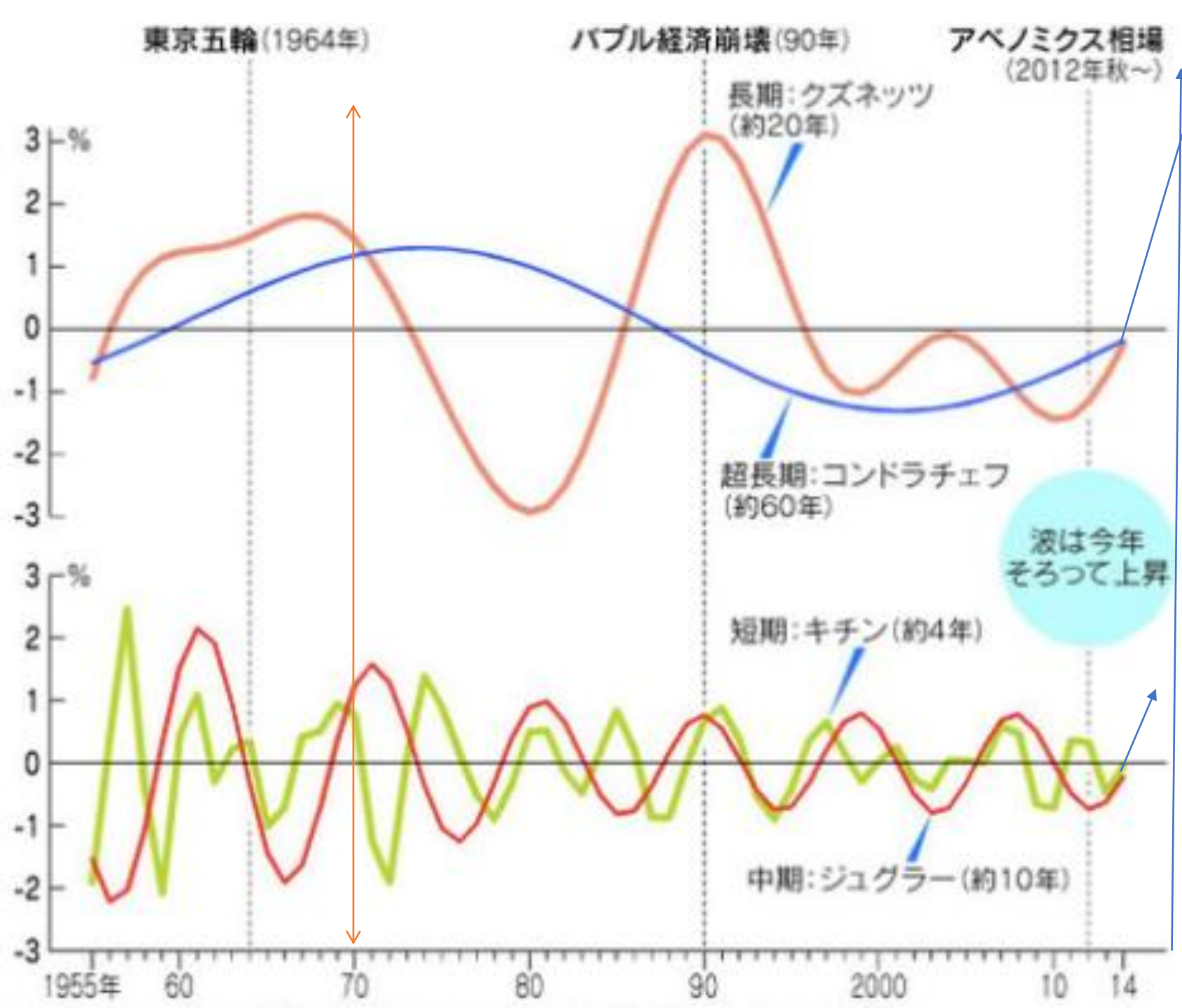
2018年平成30年(戌年)の景気は上昇か下降か 不動産市況 建設需要

住宅産業振興連盟セミナー

2018年3月6日 12:15~13:00

衆議院議員

山本有二



< ゴールデンサイクル >

- ・ 景気循環の法則
- ・ 経済要素ごとの波の存在

- ①キチン=4年、在庫投資
 - ②ジュグラール=10年、設備投資
 - ③クズネッツ=20年、建設投資
 - ④コンドラチェフ=60年、インフラ更新
- この4つの波が全て上昇するときをいう。

< シュンペータ・産業革命循環 >

- ・ 技術革新の発明・構造変化・経済成長
- 1、1783年、蒸気機関、紡績
 - 2、1842年、鉄道建設、移動
 - 3、1897年、自動車、フォード
 - 4、1953年、石油化学、エネルギー
 - 5、2011年、インターネット、アマゾン
- ほぼ、60年周期

< 空前の好景気 >

- 1、1900年、日露戦争
- 2、1960年、オリンピック
- 3、2020年、オリンピック

< 景気上昇と政権 >

- 1、2012年、民主党⇒自民党
- 2、好景気政権安定=佐藤栄作

人生60年、生活行動、経済活動

景気循環は、物、人にも適用

- 1、人生は、幼年期 = 0 ~ 20歳、受け身的消費、15年間
- 2、青年期 = 21 ~ 35歳、独身消費、15年間
- 3、子育て期 = 35歳 ~ 50歳、家族消費、15年間
- 4、円熟期 = 51 ~ 65歳、子供の就職・結婚、15年間
- 5、終末期 = 66歳 ~ 100歳、年金生活、医療介護重点、ほぼ消費減少
- 6、人生経済は、60年経済

株価(日経平均)パフォーマンス						
十二支 (格言)		年間騰落率 平均値	サンプル 数	勝	負	
よみ	よみ					
繁栄	子	ね(ねずみ)	23.8%	5	3勝	2敗
つまづき	丑	うし	-6.3%	6	3勝	3敗
千里を走り	寅	とら	1.8%	6	1勝	5敗
跳ねる	卯	う(うさぎ)	16.4%	6	4勝	2敗
天井	辰	たつ	28.0%	6	4勝	2敗
天井	巳	み(へび)	13.4%	6	4勝	2敗
尻下がり	午	うま	-5.0%	6	3勝	3敗
辛抱	未	ひつじ	7.9%	6	4勝	2敗
騒ぐ	申	さる	8.8%	6	5勝	1敗
騒ぐ	酉	とり	15.2%	6	5勝	1敗
笑い	戌	いぬ	9.8%	5	4勝	1敗
固まる	亥	い(いのしし)	16.2%	5	4勝	1敗

十干(じっかん)別パフォーマンス						
年号 末尾	十干 よみ	年間騰落率 平均値	サンプル 数	勝	負	
0	庚	かのえ	-4.1%	7	2勝	5敗
1	辛	かのと	9.8%	7	4勝	3敗
2	壬	みずのえ	27.4%	7	4勝	3敗
3	癸	みずのと	11.5%	7	5勝	2敗
4	甲	きのえ	3.8%	7	4勝	3敗
5	乙	きのと	16.3%	7	7勝	0敗
6	丙	ひのえ	13.3%	7	6勝	1敗
7	丁	ひのと	-4.1%	7	2勝	5敗
8	戊	つちのえ	14.3%	6	4勝	2敗
9	己	つちのと	17.9%	7	6勝	1敗
全平均			10.6%	69	44勝	25敗

戊(いぬ)年の日経平均株価(相対値:月次ベース) (1958年、1970年、1982年、1994年、2006年)

(前年末値=100)



出所: QUICK Astra Managerのデータよりみずほ証券作成

●10%超の大幅高 (1958年と1994年)

1年を通じてプラス圏での展開が続く

●3%程度の小幅高 (1982年と2006年)

春以降にマイナス圏に沈む

●下落 (1970年)

一時反発するものの、春以降に再びマイナス圏に沈む

(2) 1970年(昭和45年)

日本万国博覧会(大阪万博)が開幕。その直後に「赤軍派学生」による「よど号ハイジャック事件」が起きる。ポウリングブームに沸いていたのもこの時。国内経済は「いざなぎ景気」(1965年10月~1970年7月: 57カ月)が続いていたが、1970年夏に消費主導型の景気が息切れ、後退局面へ入る。1970年の日経平均株価は春に一時2500円台まで買われたものの、年末に1987円の安値圏で引け、年15.8%下落した。過去5回の戌年相場で唯一の下げを記録。

→ 東大紛争、大学紛争、70年安保、ベトナム戦争、若者の反戦志向、ヒッピー文化、世の中の不透明感増す。

1970年だけが、戌年で100を割る。

1970年は、景気循環のサイクル4つの波は、半分は下降局面。加えて、将来不安。

2018年は、景気循環のサイクル4つの波はすべて上昇局面